

3月のほけんだより

2022年3月1日

ハレルヤ保育園

少しずつ日が長くなり、日中暖かくて気持ちのいい日が増えてきました。現在も新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために、手洗い、うがいの徹底と、外出する時にはマスクの着用など、小さな子どもたちを病気から守っていくためにも、一人ひとりが衛生管理に気をつけながら、1年の締めくくりのこの月を元気に過ごしましょう。

3月3日は耳の日です（子どもに多い耳の病気 中耳炎）

○急性中耳炎

中耳（鼓膜の内側）に、鼻やのどから細菌が入って、炎症を起こし、膿がたまる病気です。風邪の後、鼻やのどの炎症に続いて起こることがあります。

主な症状 ◆激しい耳の痛み◆発熱◆耳だれ◆耳がつまった感じ

気を付けること：子どもの様子に注意

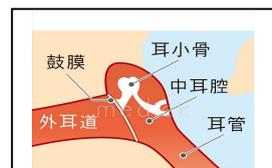
・耳が痛くても、言葉で症状を訴えられないこともあります。耳に手をあててみたり、理由もなく、ぐずるときは体調の変化や、耳の様子に気を付けてみて下さい。

○滲出性中耳炎

中耳腔（鼓膜の内側）に液体が溜まる病気です。急性中耳炎が完全に治りきらず、鼓膜の内側に膿が残って起こる場合があります。

主な症状◆耳が聞こえにくい（難聴）・何度呼んでも返事をしない。

気を付けること：中耳炎の治療は最後まできちんと受けること。治療を途中でやめしまうと、慢性中耳炎に移行することがあります。「完全に治った」と言われるまで、治療を続けましょう。



予防接種の接種もれはありませんか？

3月1日～7日までの7日間は「**子ども予防接種週間**」です。



生まれたばかりの赤ちゃんには、お母さんから免疫物質が移行しています。しかし、お母さんからの免疫の量はだんだん下がり、1歳までにはゼロになります。免疫の量が下がると、さまざまな病気にかかりやすくなります。

人が病原体に感染して自分で免疫をつくることは自然なことですが、感染は子どもにとって大きな負担であり、脳炎などの重篤な合併症の危険も伴います。このため、ワクチンで防げる病気「VPD」に関しては、生後2か月から順次予防接種を行い、子どもたちの命を守っています。

「0歳代は育休中で順調に打っていたのに、1歳以降は職場復帰して忙しくなり、つい忘れる」といった話をよく聞きます。接種忘れがないか、母子手帳の記録をいま一度見返してください。

2月の感染症報告（2/1～28）

1年間、健康に過ごせましたか？

お子さまと一緒に1年間を振り返ってチェックしてみてください。チェックのできなかった項目は4月からの目標にしてみましょう。

- 早寝早起きができた
- 朝ご飯は毎日食べた
- 好き嫌いをせず何でも食べた
- 食後は歯みがきをした
- 外でたくさん遊んだ
- 外から帰ったら手洗い・うがいをした
- 友達と仲良く遊ぶことができた

